

特定非営利活動法人  
UMLモデリング推進協議会(UMTP)  
2007年度活動報告



2008年5月16日

副会長 堀内 一



## 会員数の推移

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	
	実績	実績	実績	目標	実績
団体正 会員	54	49	52	60	46
個人正 会員	4	7	6	4	2
団体準 会員	3	4	4	8	10
個人準 会員	14	16	18	18	18
協賛会員他	1	1	1	1	2
(海外会員)	0	0	0	2	(2)
合計	76	77	81	91	78

- ・新分科会立ち上げによる 新規 18会員
- ・組み込み分科会休止で、退会も増加、21会員
- ・個人正会員減少:
- ・アカデミック会員:2会員

## 認定事業(1)

### ▶ 国内認定試験

- ・2007年度実績 3,554名 ;  
目標 3,800名、  
(NEC殿社内CBT 約850名受験)

### ・L3試験開発

- 4社に作成委託、  
08/1/9開発完了  
プロタイプ試験実施終了

4月21日試験開始

	2004	2005	2006	2007 実績
受験者数	3,726	3,159	3,652	3,554
受験者数 累計	4,019	7,178	10,830	14,200
認定者数	353	2,156	2,524	2,300
認定者数 累計	1,845	4,035	6,479	8,932

## 認定事業(2)

- ・UML2.0対応試験 英語版、中国語版作成  
THS社より、LI-T2 日本語、英語、中国語配信。  
L2リリース(予定)

- ・THS社、試験配信システムリリース  
LI-T1、LI-T2試験開始(6月 大連理工大学)、

- ・試験対策セミナー
  - ・L2対策セミナー(東京) 07/12/21, 08/2/29
  - ・L3紹介セミナー(東京) 08/3/5

## 海外連携事業(1)

### ・海外認定試験

- ・THS社配信の試験立ち上げ、中国、ベトナム  
- 73名(大連 42名、北京 15名 杭州 8名、ホーチミン 8名); 07目標 100名

- ・Pearson配信 99名(ASTI社); 07目標 50名  
NEC中国、西安工科大学

海外受験者数

受験者数	2006年	2007年
PearsonVue	87	99
THS	-	73
合計	87	172

### ・認定試験パートナー契約

- ・THS社: 配信契約も締結
- ・ITブレイン社: ベトナムでの試験実施
- ・OSR社、CSS社、HBSTC SKLSE Wuhan Univ., Lianheng Business Consulting 社、PM Academy社

## 海外連携事業(2)

### ・海外セミナー

- 07/5/25 大連 中日WeekDay UMTPモデリングセミナー  
大連理工大学での試験実施、大連市との人材育成で連携
- 07/6/21 ホーチミン モデリングセミナー・ベトナム  
ベトナムでの認定試験実施
- 07/6/16 武漢 モデリングセミナー  
武漢大学SKLSEとのパートナー契約
- 07/7/16 北京 モデリングセミナー  
北京での認定試験開始、2社とのパートナー契約締結
- 07/10/18 上海ITO Outsourcing Conference 参加

### ・「オフショア開発へのUML適用ガイドライン」リリース(2007/5)

- ・オフショア開発の各段階でのUML適用のノウハウを提供
- ・受託側のアンケート実施、意見取り入れ、改定場版、2008年6月リリース予定

# モデリング普及事業



## ・技術セミナー

07/7/23 「戦略マップによるビジネスモデリング」 東京

講演: 羽生田栄一氏、宗平順巳氏

07/8/24 同

大阪

07/9/11 「責務駆動設計の基本から上級原則まで」 大阪

講演: 藤井 拓氏、Rebeca Wirk氏

## ・用語検討部会

・UMTP準拠、認定に係る優先訳語、使用可能訳語の調整を完了

・あらたにベトナム語版の活動を開始。

## ・認定委員会

・認定基準改訂

・基準準拠、トレーニングテキスト

認定

基準準拠 統計

年度	書籍	教材	ツール	その他	合計
2003年度	7	3	1	1	12
2004年度	2	2	1	0	5
2005年度	4	0	1	0	5
2006年度	3		0	0	3
2007年度	4	3	2	0	9
2008年度	2				2
累計	22	8	5	1	36

テキスト認定

年度	L1	L2	L3	合計
2005年度		1		1
2006年度		1		1
2007年度	2	2		4
2008年度				
合計	2	4	0	6

## モデリング普及事業 Modeling Forum 2007



メインテーマ: 「情報資産価値創造とモデリング」

開催地: 東京	開催日: 2007年 9月13日、14日	来場者数: 1566名 (リピータ含む)
会場: 大手町サンケイプラザ 主催: 特定非営利活動法人 UMLモデリング推進協議会 共催: 電子商取引推進協議会 (ECOM) 後援: 財団法人 流通システム開発センター、オブジェクト・マネジメント・グループ (OMG)/日本代表、ORiN協議会、保健医療福祉情報システム工業会、石油化学工業協会、特定非営利活動法人 ビジネスモデル学会、XMLコンソーシアム、社団法人 情報サービス産業協会、XML技術者育成推進委員会、国際プロジェクト・プログラムマネジメント学会、情報システム学会 特別協力: 株式会社IDGジャパン		
Platinum Sponsors: 株式会社オーグス総研、日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社NTTデータ		
Gold Sponsors: 日本電気株式会社、株式会社日立製作所、マイクロソフト株式会社、株式会社野村総合研究所、ジャパンシステム株式会社、ソニックソフトウェア株式会社、株式会社ジャストシステム、EDSジャパン、富士通株式会社、		
Silver Sponsors: さくら情報システム株式会社、東芝ソリューション株式会社、日揮情報システム株式会社、日揮情報ソフトウェア株式会社、クオリティ株式会社、オリエンタル・スタンダード・ジャパン株式会社		

## 共有促進事業

### ・BPMN(Business Process Modeling Notation)分科会

- ・SOAのための、3レベルモデルにおけるBPMN図形要素の利用ガイドライン検討。
- ・プロセスレベルとレイヤーの粒度に関する検討。
- ・プロセスパターンの適用と拡張。

### ・保険業務モデリング分科会

- ・保険契約管理業務フローのAs-Is分析
- ・基本UML(クラス図・ユースケース図・アクティビティ図)の作成

### ・モデルベースアーキテクト分科会

- ・IPA「ITアーキテクト」の調査
- ・モデルベースアーキテクト像の定義

## 2007年度活動 総括

成果；

- ▶ L3試験を開発・リリース
- ▶ 中国、ベトナムで試験実施
- ▶ オフショア開発へのUMLの適用
  - ➔ 連携の基盤はできた

課題；

- ▶ オフショアリング成果の実現
- ▶ モデル共有によるソリューションの実現